

河川環境を保全するため不法投棄対策にご協力をお願いします

河川空間は地域の住民の方だけでなく生物にも貴重な場所ですが、近年その河川敷地への不法投棄が増えていきます。今年度も空き缶や弁当箱から廃タイヤ、テレビ等の家電製品と大小さまざまなモノが不法投棄されています。

河川空間に捨てられたゴミは河川環境を損なうだけでなく、洪水時に下流に流れ、利水者などの河川の利用者に影響を及ぼします。また、ゴミの処理は法律に則って正しく行われるよう、自治体が監督しており、悪質な場合は罰金等の刑罰の対象となります。



不法投棄された
廃棄物



不法投棄された家電

河川事務所では不法投棄を防ぐための巡視、CCTV カメラでの監視や看板の設置等の対策を行っております。不法投棄を発見した場合は、警察の協力のもと、原因者を特定し指導するとともに告発も視野に入れて厳しく対処しています。ゴミの出し方は各市町村で決められているため、HPや電話等で確認のうえ適切な処理をお願いします。

河川事業特集＜川の水を安全に流すために＞

岩見沢河川事務所では昭和 56 年 8 月洪水の降雨でも川の水を安全に流せるよう、堤防整備、河道掘削、遊水地整備など様々な事業を環境に配慮しつつ取り組んでいます。そこで本紙では、3号連続「河川事業特集」を行います。今月は川の水を安全に流す対策を紹介します。



整備前
河道掘削・堤防整備のイメージ



深さ約 2.5m 幅約 50mの掘削

石狩川河道掘削現場

水の流れる断面積を広げる

堤防整備、河道掘削をすることで水の流れる断面積を大きくし、流下能力を増やし洪水があふれることを防ぎます。



川の流れを阻害するように
樹木が繁茂している

水を流れやすくする

河川敷に繁茂している樹木は鳥や魚にとって貴重な環境です。しかし、水の流れの方向を変化させたり、流水を堰上げるため洪水を助長させる場合があります。そのため、治水・管理・環境の観点から、川の水を安全に流すのに支障となる河畔林の伐採箇所や生物の生息環境の連続性の確保のため残置箇所を検討し、生物と共生できるよう適切に樹木管理を行います。



伐開により
阻害を解消

樹木管理のための伐開工事の例

水を安全に流すための関係機関への取り組み

橋などの川を横断する構造物も川の流れに影響を与えます。近年、これらの構造物の老朽化が進み、改築などが行われていますが、岩見沢河川事務所では構造物の管理者と協議を行い、川の流れを阻害しないように工事が行われるかを確認しています。

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL : 0126 (23) 9555



国土交通省